



幻の駅はまだあった…?!

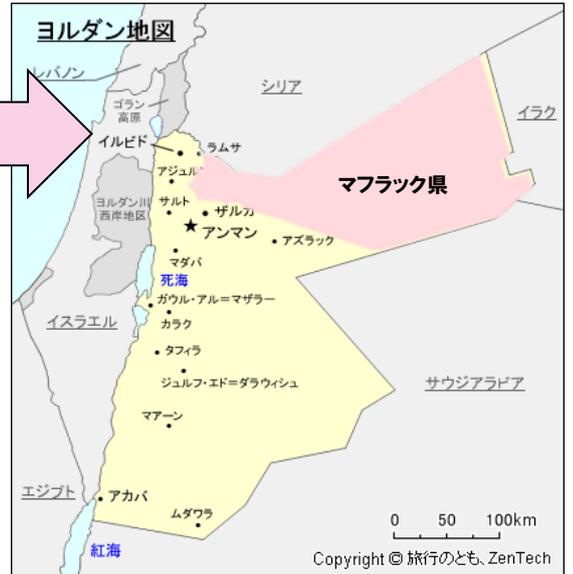
この駅、見覚えありませんか??そう、No.16 で紹介したヨルダンの幻の鉄道の駅です。でも、あれ?アンマンじゃない…実は、「マフラック」という別の場所で駅を発見しました。そんなマフラックと、その場所で生活する隊員について紹介します。



マフラックとは?

マフラック県は、ヨルダンの北西に位置していて、シリア・イラク・サウジアラビアと接しています。人口約30万人が暮らす、ヨルダンで2番目に面積が広い県です。(マフラック市の人口は約4万8千人です。)人口の半数はシリア人と言われています。

街にはスークという大きな市場があります。歩いてみると、お店の人たちがとても親切で、よくおしゃべりしたり日本のことについて尋ねてきたりしました。マフラックは街のほとんどが砂漠で、よく砂嵐が起こるそうです…。しかし、紀元前1世紀に栄えた都市の遺跡が今も残る、歴史ある場所です。



そんなマフラクで生活中的の隊員は…

コスラーさん。福岡県出身。「コスラー」という名前は古風らしく、大人の方にも自己紹介すると、喜ばれます☆大家さんが作る料理がとにかく大好き！特に、羊肉で作る「クフタ」（ハンバーグのようなもの）がお気に入り♪



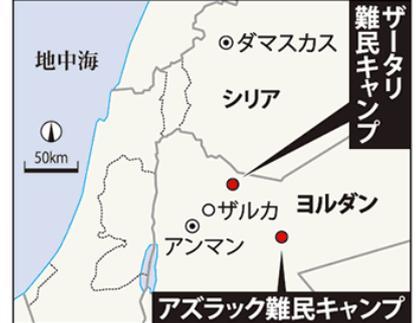
その名も、**コスラー**！
(アラビア語の名前です)



コスラーさんが活動するのは、マフラクにある「ザータリキャンプ」。ここは、シリア難民の方が暮らすキャンプです。(右の資料参考)
興味のある人は、横のQRコードをスキャンして読み込むか、クリックすると、毎日新聞の記事を読むことができます。



ヨルダンの主なシリア人難民キャンプ



キャンプ名	ザータリ	アズラク
所在地	マフラク県	ザルカ県
設置年月	2012年7月	2014年4月
面積	5.3平方キロ	14.7平方キロ
難民の人数	7万9000人	3万6000人
18歳未満	57%	58%

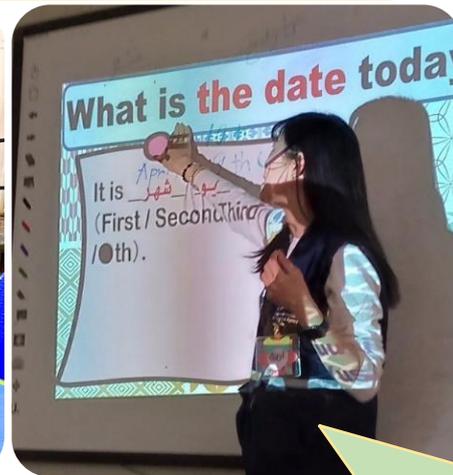
※公益社団法人毎日新聞大阪社会事業団「2016年ヨルダンのシリア難民報告(写真特集)」より引用

2011年にヨルダンの北にあるシリアという国で、シリア人同士で争いが起こりました。2012年、その争いから逃れるためにヨルダンに多くの難民がやってきました。私は「ザータリシリア難民キャンプ」で難民の少女たちに英語の授業をしたり、世界の文化を教えるアクティビティを行ったりしています。

難民の女の子たちの中には日本が大好きな子がたくさんいるんですよ！

ザータリ難民キャンプで活動する(した)団体 ※一部

国連UNHCR協会	
国境なき子どもたち	
セーブ・ザ・チルドレン	
特定非営利活動法人ジェン	



ザータリ難民キャンプでは、世界中の様々な国々からの支援で、学校や病院など人々の生活に必要な施設が運営されています。日本もキャンプ内の水道の支援をしました。

また、国際NGOという世界各国の人々からの寄付で運営されるたくさんの団体がキャンプ内で活動しています。働く人々がどの団体が、目で見てすぐ分かるように、その団体のポロシャツやバストを着ます。そのため、私もいつもJICAのバストを着て活動しています。

実は、ザータリ難民キャンプへ誰でも簡単に入ることができません。登録された団体の限られた人のみが入りできます。コスラーさんもそのうちの1人。ザータリ難民キャンプでの生活や活動は想像するしかありませんが、キャンプ内の子どもたちが少しでもより楽しい充実した生活となるよう、彼女の活動を応援することが私にできることかなと考えます。そして、国連UNHCR協会では、11月より「難民映画祭」を開催するようです！少しでも興味をもった方はぜひこの機会に映画を通して、難民について知る第一歩を踏み出してみませんか？現地からは離れた日本からもできることはある！世界に目を向ける良い機会になるはずです。



では、また次回！
مع السلامة

